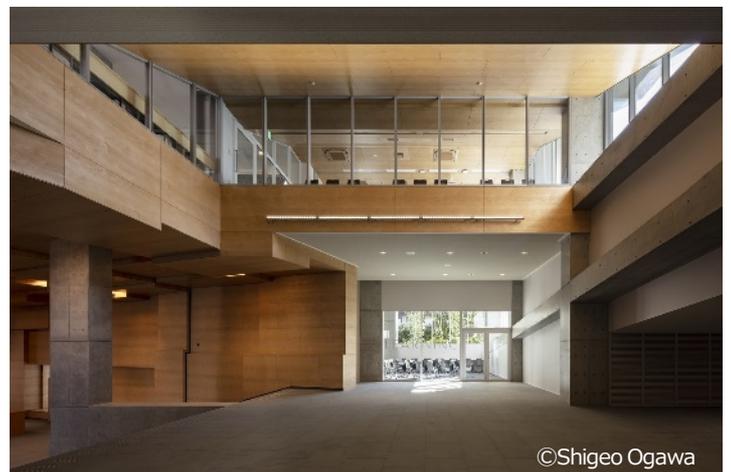
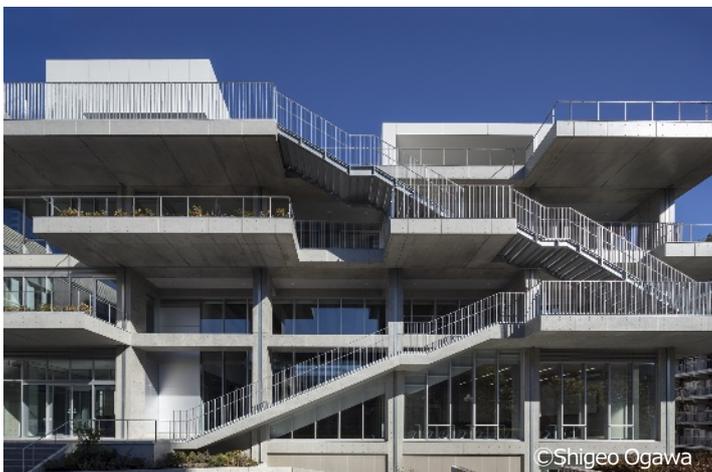


立正大学 品川キャンパス 150周年記念館 竣工



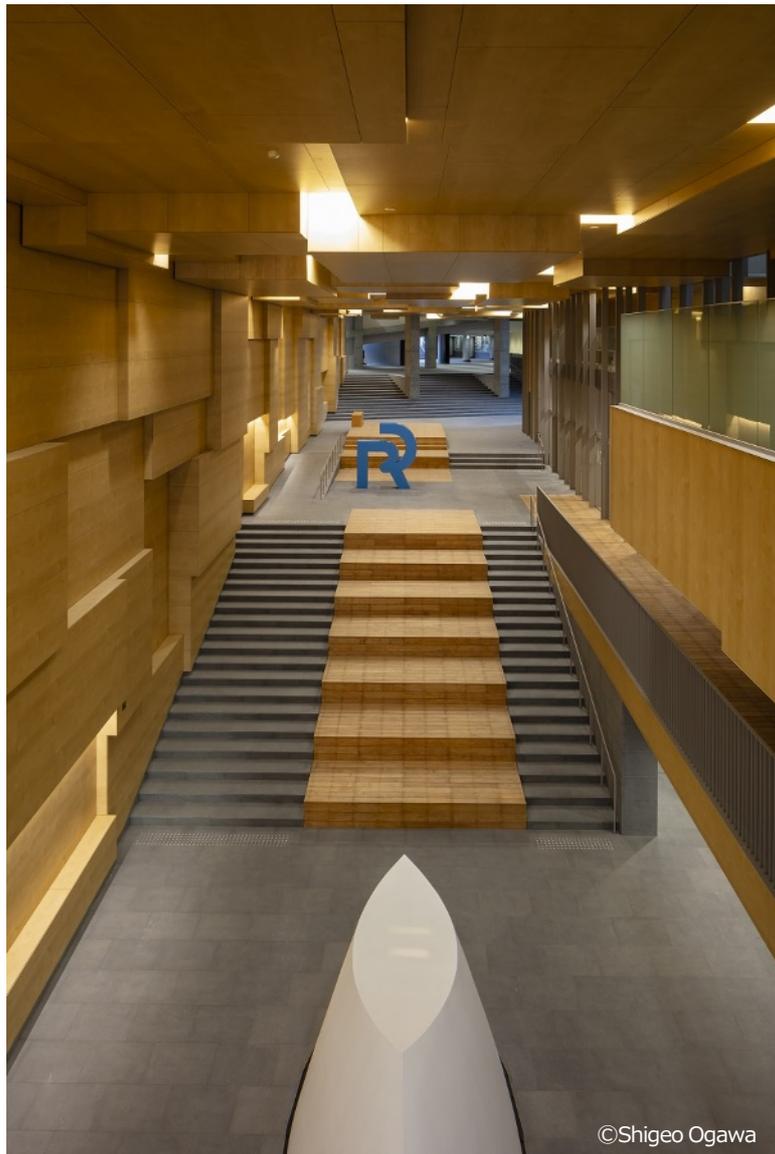
開校150周年記念事業の一つとして2018年10月から工事が進められてきた150周年記念館が、2021年2月に竣工いたしました。地下2階地上11階建ての13号館、地下2階地上4階建ての6号館からなる記念館は、街とキャンパスをつなぐゲートウェイであると同時に、本学の教育・研究ほか様々なアクティビティを活発化し発信する機能を持つ3つのエリアから構成されています。



■ 低層階 ■ 地域に開かれた情報拠点となる「地域連携エリア」

● 大階段広場

山手通りに面するエントランスゲートは街とキャンパスをつなぐ役割を担い、「大階段広場」が大学内外を問わず多彩なコミュニケーションの場として機能します。



©Shigeo Ogawa

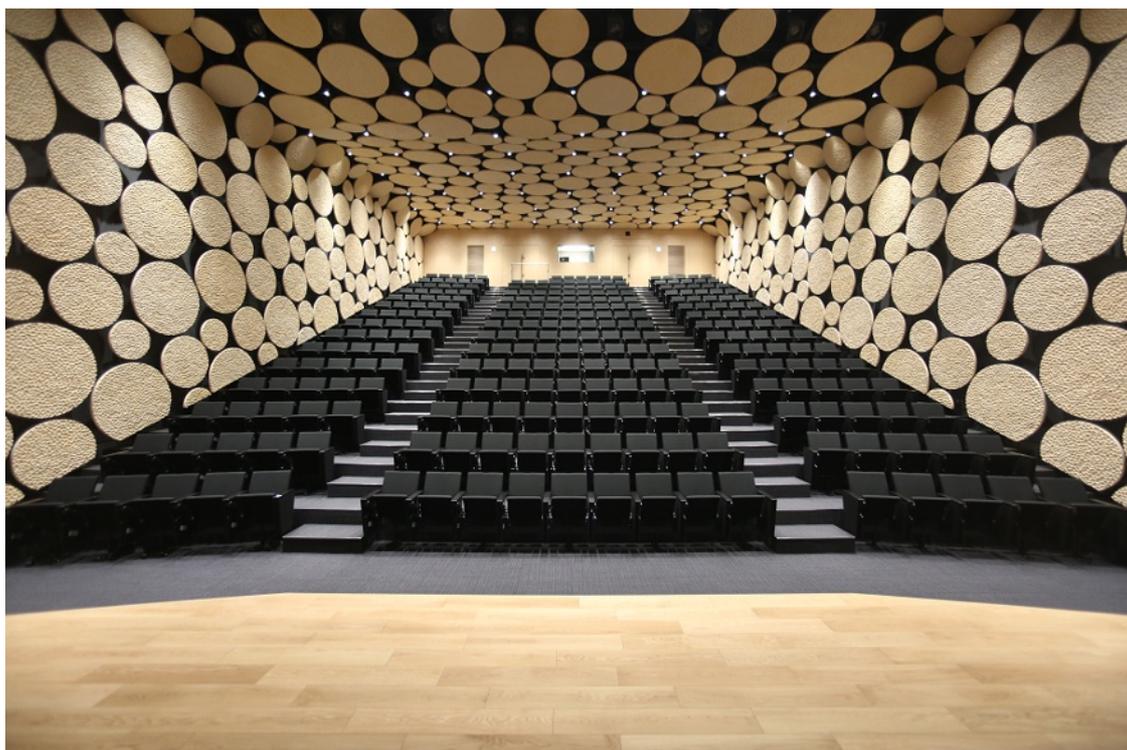
● ロータスギャラリー

立正大学の積み重ねられた歴史、現在、そして目指す未来に至る姿を様々な展示で体感できる、立正大学の「今」と「これから」をテーマとした「ギャラリー A」、立正大学の「あゆみ」をテーマとしたギャラリー B、そして重要文化財クラスに対応可能な展示機能を有し、大学が蓄積してきた多彩で貴重な史料と研究成果を公開する特別展示室を擁しています。



●ロータスホール

ロータスギャラリーに隣接する「ロータスホール」は282席の多目的ホールで、講演会や音楽会の開催が可能です。



●食堂・カフェ

6号館の地下に設けられた学生食堂・カフェは、ラウンジ席、グループ席、半個室、カウンター席など、シチュエーションに応じた使い分けができ、レセプションルームとしても利用が可能です。



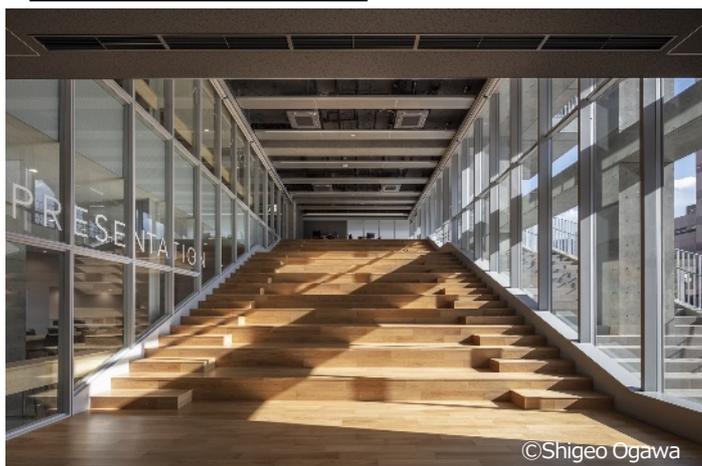
■ 中層階 ■ 充実の設備を要する教室やプレゼンテーションスペースからなる「スタディエリア」

学生の課外活動の成果発表をはじめとしたイベントの開催や、セミナーや各種ミーティング、ラーニングcommonsとして学生が自由に学修できるスタジオ・プレゼンテーションスペースが豊富に設置され、また、AV機器等の設備の充実した教室が配置されています。

● 多目的スタジオ、学修スペース



● プレゼンテーションスペース



● 各種教室

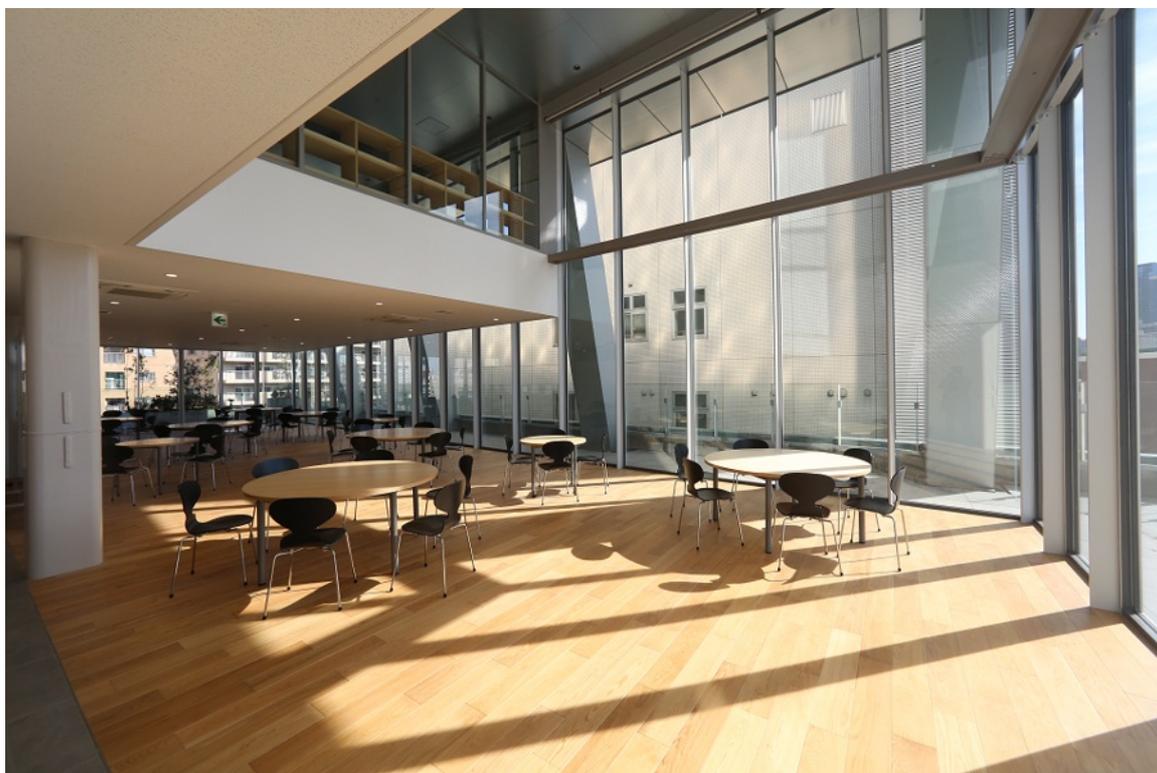


■ 高層階 ■

共同研究ラウンジやコミュニティラウンジなど、学際的な研究活動の場となる「先端研究エリア」

ディスカッションやミーティング、研究発表・レセプションに利用できるラウンジや、学内外における共同研究に提供するシェアオフィスを備えています。

● コミュニティラウンジ



● 共同研究ラウンジ、シェアオフィス

